

実行委員長 小畑 浩昭

来年の7月22日で、グループわ の設立から20年の節目を迎えます。20周年記念事業を計画し実行するために、昨年12月に準備委員会を発足して、記念事業の方向性を見出すために12月末から会員の皆様に広くアイデアの募集をし、計画の骨子づくりをしてきました。

そして9月6日（火）に実行委員会を立ち上げることができました。



第1回実行委員会で挨拶する小畑委員長

ご承知のとおり、グループわ は阪神淡路大震災の復旧ボランティアから地域に芽生えたカレッジの学生の輪・ボランティア活動の輪、日常何気なく行っている「他を思いやる行動」を個人からグループ活動へという形で、神戸市シルバーカレッジの建学精神「再び学んで他のために」を卒業後も実践する組織として平成9年に設立されました。設立当初は「川重シルバー基金」の運用益が唯一の活動の資金で財政的に恵まれたわけではありません。様々な助成金をいただきながら運営されたとお聞きします。

その後、会費制を採用し、平成16年にはNPO法人へ移行、先輩方の様々な努力の結果、幅広い活動の場を得ることができ、今日まで拡大発展を続け、今ではグループわ は会員が1,400人を超え、活動グループが約60、9区に区会組織を持つ全国でも例のないボランティア組織になっています。

私は、この20周年の記念事業を①グループわ の会員と共に祝うこと②グループわ を支えていただいた多くの方々、関係機関の方々への感謝の場であること③そして何よりも、神戸市シルバーカレッジの学生にとって卒業後の社会還元、社会参加の場であることを認識していただくことなどに役立てたい。そして20周年記念事業を通じて、グループわ が持つ多様な社会還元のノウハウと人材を活用してさらに社会に貢献していくこと、こうした私たちの活動を通じて、今後、急速に進む高齢社会での社会参加の一つのモデルとな

ることを発信したい。会員の皆様方のご協力をお願い致します。

20周年支援金ご協力のお願い

来年1月に、送付の振込取扱票の会費1,500円を、来年に限り支援金500円を加えて、2,000円の協力を頂きたく、ご理解の程宜しくお願い致します。

20周年記念事業内容骨子(案)

第1回実行委員会で確認された事業内容骨子は以下の通りです。

- 1. 目的** 20周年記念事業を行うことにより、内外の交流を深め広く活動を伝え、グループわ の更なる充実と発展を図る。
- 2. 実施時期・場所** 記念式典は設立月日にシルバーカレッジで実施し、記念イベント・作品展示などは、シルバーカレッジ・しあわせの村各施設・須磨一ノ谷プラザ・水の科学博物館・その他で交流・体験イベントを実施する。
- 3. 実施事業** (1) 記念式典 (2) 記念イベント (3) 記念誌 (DVD) (4) 作品展示・販売を実施します。

対象はグループわ 会員・KSC卒業生・在校生を中心として、日頃の活動先関係者、一般市民の方も参加して頂けるものにし、広報活動にも努めていきます。

実行委員会組織体制

委員長:小畑浩昭(国16) **副委員長:**水町亮治(生18)

記念式典部会 ◎米増享二(音19) ○戎井正俊(生17)
柳川瀬淳一(国13) 堺 汎(園15) 北村 洋(生17)
杉原ふき子(生18)

記念イベント部会 ◎四方久幸(国18) ○重松豊彦(国9)
長谷川博(生9) 土井昭政(国10) 藤田忠之(福13)
中谷一郎(生15) 堀池邦康(生17) 田路義弘(生17)
内村ナナ子(国18) 古後健一(福18) 川部忠夫(福20)
平松 一(生20)

記念誌(DVD)部会 ◎藤田健一(福19) ○細野恵久(福3)
大掛敏夫(生7) 加藤勇治(美10) 永野知己(生18)
岡本紘一(生18) 〈兼〉大槻隆文(食20)

作品展示・販売部会 ◎田中伸一(福19) ○島ノ江繁吉(生18)
道満俊徳(生13) 木田育義(生16) 廣瀬庫司(園17)
大槻隆文(食20) 五島敬子(食20)

事務局 ◎〈兼〉水町亮二(生18) ○市原俊彦(園20)
南形徹(生14) 〈兼〉藤田健一(福19)

今後の取組について

実行委員会では、10月末までに基本計画検討、12月末までに全体計画完了、来年1月から本格作業に向けて取組を推進する方針です。